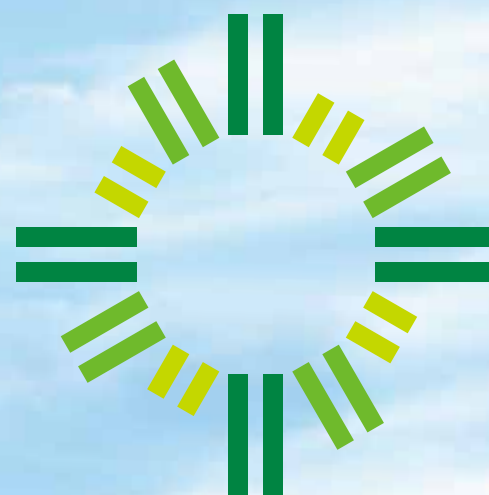


2025年春、農村の博覧会が始まります！
会場は、丹波篠山市内全域
主役は、丹波篠山市民全員です



丹波篠山国際博

日本の美しい農村、未来へ

会期：令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年間) 会場：市内全域

コンセプト

食の聖地、農の都を未来へ
文化芸術、創造農村を未来へ
生物共生、自然環境を未来へ
四季折々、美しい景観を未来へ
市民の力、丹波篠山ブランドを世界へ

ロゴマークについて

農村の星、丹波篠山

丹波篠山には、美しい農村の風景をはじめ歴史、文化、自然、農産物、工芸品や祭りなど、たくさんの「美しさ」があります。その「美しさ」を守り、次世代へつなぐための営みを日々続ける人々がいます。「美しさ」を未来へ受け継ぎ、さらに輝く丹波篠山へという思いを込めました。

パビリオンは農村

アトラクションは地域文化

パビリオンは農村。アトラクションは地域文化。特別なことや、一過性のことをやらずとも丹波篠山には世界に誇るものがたくさんあります。町並みや食を楽しんでもらい、祭りや農業・焼き物の体験など、素晴らしい資源を国内外に発信します。旅行会社と地域をつなげ、持続的な観光客の誘客・マナーには農村暮らしの体験など、移住や定住につながる取り組みなどを考えています。また、市内全体を周遊してもらえらるよう、焼き物と温泉のエリア(今田地区)、丹波篠山茶と紅葉のエリア(丹南地区)、自然とキャンプエリア(西紀地区)、城下町と古民家のエリア(篠山地区)、宿場とサイクリングエリア(城東・多紀地区)など、エリアごとの特色を明確にし、丹波篠山でしか味わえない魅力を楽しんでもらおうという案も出ています。

各協会について

「祭礼・祭事」心トキメキ部会

ユニークな部会の名の通り、「心トキメキ」のような丹波篠山ならではのワクワクが満載で、丹波篠山へ行きたいな！と人の心をグッとつかむようなことを企画したいと考えています。また、今回限りで終わらず、「丹波篠山の未来」へつなげていく内容にしたいと部会の方々と話し合いながら皆さんと協力して頑張っています。

金崎美和さん [KSGARDEN]



「環境・農林」自然の恵み部会

丹波篠山ならではの風景と食の造り手が集まっている自然の恵み部会では、丹波篠山のどの地域を話題にしても、春夏秋冬の「美しい」おもしろい自慢が始まり、部会としての活動がまとまるか？と心配になるほど。皆さんが誇らしげに語る丹波篠山の自然の恵みを、多くの方に体験いただけるような企画づくりをめざしていきます。

清水夏樹さん [市農都環境政策官]



「地域(むち)」長〜つおつき合〜部会

私たちの祖先が長い歴史の中で築き上げてきた丹波篠山の生活文化。今もその営みは、衣食住は無論のこと、それぞれ地域の伝統行事やお祭りに息づいています。これらの素晴らしい地方の文化や地域ならではの取り組みを情報として発信していきたいと思っています。

今井進さん [市東部六地区協議会]



「文化・工芸」クリエイティブ部会

「つなぐ」それは国際博のためだけではなく丹波篠山市に暮らす皆さんの未来のため。「日本の美しい農村」が持つ魅力と可能性を、音楽・演劇・アート・工芸をそろえるクリエイティブ部会は世代や文化への継承を伝えたいと考えています。2025年はその先の未来へ向けての「丹波篠山国際博」。「つなぐ」は「伝える」こと。

加古勝己さん「丹波篠山クラフトヴィレッジ制作委員会」



「商工振興」がっすりエブリデイ部会

「キャッシュレス化でがっすり」私たちの部会では、地域活性化や商工振興につながるよう市内消費拡大の案を考えています。まずひとつは、キャッシュレス化。どこのお店でもキャッシュレスに対応可能になるよう、国内外からの観光客が利用しやすい丹波篠山を目標に取り組みます。

足立義則さん [市商工会同友会]



「交通・観光・宿泊」一度来たら二度三度部会

市内広域周遊手段および秋の交通集中対策、ユニバーサルツーリズムなどを検討し、「国内外から多くのお客さまと市民の皆さま」世代をまたぐ「さまざまな交流機会が生まれるよう、知恵や工夫を出し合いながら準備を進めていきたいと考えています。

宮林慶子さん「古民家がストハウスやまぼっし」



「オール丹波篠山」

きっかけは2025年に開催される「大阪・関西万博」を機に、ユネスコ創造都市である丹波篠山を広く知ってもらい、国際交流を深めたいという議員提案。昨年8月に丹波篠山国際博推進市民委員会が設立。推進市民委員会には、自治会やまちづくり協議会、市民団体、事業所など179団体が所属(1月11日現在)。国内外から多くの観光客を呼び込み、1年を通して世界に誇れるわが市の魅力を知ってもらおうと「丹波篠山国際博 日本」の美しい農村、未来へを開催しようという運びになりました。

持続的な観光客の誘客や市のブランド力のさらなる向上につなげ、市民の皆さんにも自分たちは世界に誇れる素晴らしい資源に恵まれたまちに住んでいるということを再認識いただき、オール市民参加で持続的な地域の発展を目的に取り組んで行くため、開催への準備を進めています。

●参加団体・事業所募集中

申し込み・問い合わせ
観光交流部 丹波篠山国際博担当
☎5558・8891

丹波篠山でワクワクイキイキと！

丹波篠山国際博実行委員長 小田垣昇さん

日本の農村の縮図である丹波篠山市。全国の地方の共通課題である過疎化や高齢化、商売の後継者や農業の担い手不足、交通のインフラの脆弱性などの課題解決に向け、この機会を生かして前進させたいと思います。そして、丹波篠山へお越しの方が食・文化芸術・空間にワクワクし、市民が誇りを持ってイキイキと暮らしを続けることができるよう、地方創生の先駆者となり、日本の美しい農村を未来へつなげたいと思っています。

みんなの力で！盛り上げよう

丹波篠山国際博副実行委員長 畑弘恵さん

人手不足やコロナ禍で疲弊している地域活動や、地域文化などをよく耳にします。丹波篠山国際博をきっかけに、アップデートしませんか。特別なことはなくても、飾らない丹波篠山がみんな大好きです。プラスアルファな気持ちの「おもてなし」で丹波篠山国際博に参加しませんか。みんなの力を合わせて盛り上げよう！



リポーター 畑弘恵さん